

## 概要

# 神辺中学校 第一回学校図書館運営委員会

2023(R5)7.7(金) 16:00~16:50

## 運営委員会開催のねらい

校長が学校図書館の館長としての役割を担い、図書の選定・廃棄方針を決定する等、計画的、組織的に図書館運営がなされるようにする。

## 構成メンバー

校長・教頭・教務主任・事務職員・図書館担当教諭・図書委員会担当教諭・学校図書館補助員

## 協議内容

- \* どんなときに、本を求めるか
  - ・ 新しい情報を探するとき
  - ・ 欲しい情報を取りに行くとき
  - ・ ブックフェア等のイベントがあるとき
  
- \* 図書館での子どもの姿
  - ・ 授業において、前向きに取り組む
  - ・ 多くの生徒が利用している
  - ・ しゃべり声大きいなど、利用の仕方に課題がある
  
- \* 目指す図書館像
  - ・ 立ち寄りたくなる図書館
  - ・ 授業で活用できる図書館



【学校図書館運営委員会の様子】

## まとめ

図書館実態を共有することで、図書館運営に対する意識が高まった。今後、目指す図書館像をさらに明確にし、取組を検討・推進する必要がある。

## 詳細

### \* どんなときに、本を求めるか

教諭 私は、本当によく本屋に行きます。欲しい本がなくても、面白いものがないか探しに行きます。とにかく新しい情報が欲しいです。インターネットは、情報量が多く、信憑性が低い面があると思います。不特定多数の情報ではなく、誰かが書いた特定の情報が欲しいです。

教頭 確かに、昨年度、社会科の授業後生徒アンケートにも同じような思いが書かれていました。

教諭 私は、好きな著者が本を出しとき、あとはストレスがたまったときに本屋に行きます。あと〇〇フェアとか、イベントがあれば行きます。そして必ずかばんの中に1冊本を入れるようにしています。本を読む友人は、公共図書館で順番待ちをして本を借りているし、旅行に行ったときには、本の世界と重ね合わせながら、場所を巡り、本の追体験をしています。

教諭 そういう話を聞くと、読みたいと思える人であったなら良かったなと思います。知的に見えるし、人生変わっていたなと思います。私は、本を読むことが苦手です。読書を強制されて辛かった経験があり、図書館で本を借りることは、ほとんどありません。子どもたちの中にも、同じように感じて学校図書館を使わない子がいると思います。

教諭 強制ではなく、もっと今読んでいる生徒を正しく評価したらよいと思います。生徒の中でスポーツができることがかっこいいと評価されるように、読書することもかっこいいじゃないですか。知的なことがかっこいい、静かに本を読んでいる生徒に「素敵だね」と声をかけていきたい。

### \* 図書館での子どもの姿

教諭 授業で図書館を活用した際、子どもたちはワクワク楽しそうにして、授業に前向きに取り組んでいました。作者を調べる際に、編者は作者なのかという疑問を持つなど、面白い疑問をもっていました。また調べる際に、「索引」や「奥付」を上手く活用できていない実態が見えたり、本を探すことに難しさを感じている生徒がいたりすることが分かってきました。



【役割表示】

教頭 〇〇先生(図書館補助員)は、小学校図書館の勤務もされています。小学校では、子どもたちはどうやって本を探していますか。

補助員 小学生は、本の背に貼ってあるイラスト分類シールを頼りにして探している子が多いです。私も、子どもに本の場所を聞かれたときは、「〇〇のシール」のところに行ってくださいと声を掛けています。

教諭 シールを頼りにしていたら、公共図書館では本を探すときに困りませんか。

教諭 小学生が〇〇先生に、本の場所を聞いたように、公共図書館でも司書の方に聞くことができれば、大きな問題ではないかもしれないですね。



【図書館の様子】

教頭 図書館の利用現状は、どうですか。毎日40～50人くらい、利用していますか。

補助員 80～90人くらい利用することもあります。静かに読んでいる生徒は1割くらいで少しにぎやかです。学習したいという生徒が、利用しにくい事態は、改善する必要があると思っています。

教諭 学校図書館で大きい声で話している生徒は、きっと公共図書館では話さないと思います。なにか違いがあり、いい面も悪い面もあると思うので考えてみると面白いと思います。

事務職員 たくさんの生徒が利用しているのですね。実は、私はまだ図書館に行ったことがないので、まず図書館に行ってみます。

## \* 目指す学校図書館像

教諭 どのような図書館を目指していきますか。

教諭 少しの時間でも立ち寄れるような図書館がいいと思います。昨年度、長期休業中に開催したイベントには小学生も来てくれました。

教頭 以前、立ち寄った本屋は、郷土コーナー、植物を本と一緒に置く工夫、色をテーマにしたコーナーなどあり面白かったです。本を手に取りたくなりましたし、また立ち寄ってみたい

など思える場所になっていました。

教 諭 学習センターの機能を発揮することで、学びを生み出せる場所にする必要があります。  
そんな図書館にしていくためには、蔵書の規模に課題があると思います。活用する中で、  
足りない本を把握、購入してさらに使いやすい図書館ができていくイメージですね。本を、し  
っかり購入していきましょう。

補助員 随時、図書館にほしい本のアンケートを、子どもたちに書いてもらっています。アンケート  
箱を設置しており、1週間に2～3枚入っています。これまであった希望は、まんがが多く、  
即採用とならないものもあります。

教 諭 まんがは、いいと思います。『宇宙兄  
弟』とか『ちはやふる』とか。採用の線引  
きは難しいですね。教科の内容にかかわ  
るものがいいと思います。

まんが (1) 絵の表現はすぐれているか。 (2) 俗悪な言葉を故意に使っていないか。 (3) 人間の尊厳性が守られているか。 :
---

【全国学校図書館協議会図書選定基準 一部】

事務職員 そういう本の選定を、この会でやりますよね。図書にかかる市費の額を決めているので、  
子どもたちのために、できるだけ早く執行できればと思います。

教 頭 アンケートに入っているものを、いつ買うか、何を買うかを決めるのは、私たちの仕事で  
もありますが、子どもたちと一緒にやっていくことが大切だと思います。図書委員がすごく  
頑張ってくれています。

教 諭 図書館の活用は図書館に行くことが全てではなく、授業の中でいろいろな活用の仕方  
があることを伝えていきます。

